



平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月10日

上場会社名 株式会社地域新聞社 上場取引所 東
 コード番号 2164 URL http://www.chiikinews.co.jp
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）近間 之文
 問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部本部長（氏名）三島 崇史 TEL 047-420-0303
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成29年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	1,099	8.7	3	-	4	-	△3	-
29年8月期第1四半期	1,011	4.1	△47	-	△46	-	△48	-

（注）包括利益 30年8月期第1四半期 △3百万円（-％） 29年8月期第1四半期 △48百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	△1.64	-
29年8月期第1四半期	△26.46	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第1四半期	1,694	433	25.6
29年8月期	1,618	439	27.2

（参考）自己資本 30年8月期第1四半期 433百万円 29年8月期 439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	-	0.00	-	2.00	2.00
30年8月期	-	-	-	-	-
30年8月期（予想）	-	0.00	-	2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,125	8.9	△5	-	△5	-	△16	-	△8.68
通期	4,279	8.2	4	-	5	-	△17	-	△9.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期1Q	1,843,800株	29年8月期	1,843,800株
② 期末自己株式数	30年8月期1Q	180株	29年8月期	180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期1Q	1,843,620株	29年8月期1Q	1,843,620株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度における我が国経済は、金融緩和や各種経済政策を背景に、大手企業を中心に収益改善の傾向が見られ、回復基調で推移しております。また、個人消費については、雇用・所得環境が改善傾向にあるなかで、総じてみれば底堅い動きを示しており、消費者マインドは持ち直しの動きが見られます。しかし、中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れや、米国新政権の政策運営の不確実性、英国のEU離脱問題、不安定な国際情勢の影響から、我が国の景気が下押しされるリスクがあり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社グループの属するフリーペーパー・フリーマガジン市場は、媒体及びターゲットの多様化が進んでおりますが、紙媒体だけでなくインターネット広告との価格競争が恒常化するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループの基盤事業である新聞等発行事業は平成29年11月末現在、1都4県73エリアで73版の発行、週間発行部数は約297万部となっております。

新聞等発行事業における地域新聞社の施策といたしましては、営業活動の増加施策として、広告主とのface to face営業に加え、Webマーケティングへの取り組みを強化し、接触件数増加とお役立ち情報の提供により信頼関係を構築し、客数の増加に努めてまいりました。また、ちいき新聞紙面とWEBサイト「チイコミ」の親和性を高めるため、平成29年11月より読者向けに特化したサイト「ちいき新聞web」をスタートし、顧客満足度を高めてまいりました。更に、平成29年3月よりスタートした求人媒体「Happiness」が近隣での働き手を求める広告主と近隣での仕事を求める求職者の需要をとらえ、平成29年11月末には8エリア80万部を発行するまでになりました。

ショッパー社の施策といたしましては、「地域新聞ショッパー」をより地域に密着した媒体へと進化発展させていくためにface to face営業の強化を進めております。また、発行エリアの採算性についても引き続き注視しており、経営資源を効率的に活用してまいりました。

折込チラシ配布事業におきましては、地域新聞社だけでなくショッパー社においても、それぞれの地域にカスタマイズされた独自の地図情報システム(GIS)を活用することにより、広告主の顧客ターゲットが明確となり、効率的かつ広告効果の最大化を図るサービスを実現することができました。

その他の事業につきましては、平成29年10月には地域新聞社主催による大相撲巡業（大相撲八千代場所）を実施し、地域の方に喜んでいただけただけでなく、イベント事業を行う貴重な経験となりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は、1,099,815千円（前年同期比8.7%増）と増加し、経常利益は4,104千円（前年同期は経常損失46,740千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,037千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失48,782千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

A. 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ76,326千円増加し1,694,829千円となりました。これは、主に現金及び預金が22,203千円減少しましたが、売掛金が101,027千円増加したことによりです。

B. 負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ57,316千円減少し735,166千円となりました。これは、主に賞与引当金が50,844千円増加したほか、未払金が46,254千円、1年内返済予定の長期借入金が39,984千円増加しましたが、短期借入金が100,000千円減少したほか、その他に含まれている未払費用が88,111千円減少したことによりです。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ140,367千円増加し526,453千円となりました。これは、主に長期借入金が141,684千円増加したことによりです。

C. 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6,724千円減少し433,208千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失3,037千円の計上のほか、配当金の支払いにより3,687千円減少したことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成29年10月10日に「平成29年8月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はございません。今後の経済情勢及び業績の推移により、第2四半期連結累計期間及び通期の見直しについて見直しが必要になった場合には速やかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	816,176	793,973
売掛金	408,299	509,326
商品及び製品	1,122	233
配布品	13,532	15,287
仕掛品	9,515	9,745
貯蔵品	1,084	1,470
その他	61,718	62,887
貸倒引当金	△3,900	△5,300
流動資産合計	1,307,550	1,387,625
固定資産		
有形固定資産	78,853	74,757
無形固定資産	50,707	44,689
投資その他の資産		
その他	183,691	190,725
貸倒引当金	△2,300	△2,968
投資その他の資産合計	181,391	187,756
固定資産合計	310,951	307,204
資産合計	1,618,502	1,694,829
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,909	175,389
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	40,008	79,992
未払金	255,248	301,502
未払法人税等	7,160	10,945
賞与引当金	2,298	53,143
ポイント引当金	1,100	1,000
返品調整引当金	5,620	4,682
移転損失引当金	1,477	590
資産除去債務	2,310	2,625
その他	217,350	105,296
流動負債合計	792,483	735,166
固定負債		
長期借入金	143,322	285,006
退職給付に係る負債	169,840	173,396
資産除去債務	17,865	17,896
その他	55,058	50,155
固定負債合計	386,085	526,453
負債合計	1,178,569	1,261,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	203,112	203,112
資本剰余金	133,112	133,112
利益剰余金	103,775	97,051
自己株式	△67	△67
株主資本合計	439,933	433,208
純資産合計	439,933	433,208
負債純資産合計	1,618,502	1,694,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,011,382	1,099,815
売上原価	304,751	330,235
売上総利益	706,630	769,579
返品調整引当金戻入額	2,090	5,620
返品調整引当金繰入額	2,340	4,682
差引売上総利益	706,380	770,517
販売費及び一般管理費	754,366	767,106
営業利益又は営業損失(△)	△47,985	3,411
営業外収益		
受取利息	31	37
受取手数料	267	301
保険解約益	356	-
助成金収入	652	1,025
その他	462	549
営業外収益合計	1,770	1,914
営業外費用		
支払利息	524	1,183
その他	1	37
営業外費用合計	525	1,221
経常利益又は経常損失(△)	△46,740	4,104
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△46,740	4,104
法人税、住民税及び事業税	12,837	8,011
法人税等調整額	△10,795	△869
法人税等合計	2,042	7,141
四半期純損失(△)	△48,782	△3,037
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△48,782	△3,037

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年9月1日 至平成28年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年9月1日 至平成29年11月30日）
四半期純損失（△）	△48,782	△3,037
四半期包括利益	△48,782	△3,037
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,782	△3,037
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。